

病院組合ニュース

12 12 10 No.65

愛知県病院事業庁職員組合
〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-3-2
愛知県自治センター内
電話(052)954-6882 FAX(フアックス)0120-930-340
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp

第9回定期大会開催

人員、36協定、二交替制勤務など 多くの課題に 一致団結して取り組み

11月27日(火)
ウイルあいちにお
いて、第8回定期
大会が開催され、
2013年度の方
針が承認されまし
た。



冒頭、吉本委員長は「国家公務員退職手当は、11月16日、人事院調査による官民較差およそ400万円を解消するために、支給率の大幅な引き下げを行う法案をわずか1日で成立させ、地方に

対しても、国に準じた引き下げを要請している。病院組合活動は、各分会が執行委員、分会役員、分会委員の努力により毎月、分会委員会を開催することができるようになったことへの感謝、職場要求交渉、36協定

の締結などの問題もありますが、分会、本部が一体となり頑張りましょう」と来年度に向けての決意などを含めた挨拶がされました。

病院事業庁が人員要求に対して詳細に伝えることができるよう交渉日を決めました。県議会の日程が変更になりました。

2交替制勤務について
二交替制勤務については組合員の労働強化とならない業務見直しができるか、欠員の状況で日勤帯の確保が可能かなど、職場組合員の意見を聞きながら取り組んでいきます。

時間外勤務・休暇について
36協定は、各職場の実態に合わせた内容、当直業務の確認など、時間外勤務の削減につながる事前命令、事後



平成25年度の4月に締結したいと昨年度の運動方針としてあげられていたが、現在の進行状況はどのような状況か。

〈本部〉

36協定については、各分会で昨年度の時間外勤務実績を所属からもらい、分会でまとめ、時間数などについて実態の把握をしているところである。今後、所属と話し合っていくことになる。

〈再質問〉

36協定について、分会と所属の認識に温度差を感じる。城山病院の夜間は、精神科特有の相談・訴えなどで時間を要する。

〈本部〉

時間数だけでなく、業務内容も理解をさせる必要がある。

〈本部〉

当直については、しっかり話し合う必要がある
(2面へ続く)

質問・意見・答弁

安藤代議員

(城山病院分会)

① 36協定について、

(1面から)

る。業務であれば交替制勤務も考える必要がある。

② 城山病院は三交替として動いているが、

全国的に二交替となっている。長時間勤務は反対だが、問題点などあれば教えてほしい。

〈本部〉

平成23年6月の「五局長通知」、看護協会の「看護職の夜勤・交替勤務のリスクに関するガイドライン」に

そつて、がんセンター中央病院が分会に提示してきた。

全国的に12時間勤務の変則二交替勤務が、どのような状況となっているのかは分からない。

がんセンターの二交替勤務の試行を行った現場では、日勤深夜にあつては午前中の半日勤務としている。4週6休になつても、12



時間の変則二交替を希望する声が大きく、分会、本部も了承をした。土屋代議員(がんセンター中央病院分会)

分会交付金について、支出金額が少ないのに、2013年も支出済み額の金額より多いが何か。

〈本部〉

分会交付金は、各分会から活動計画に応じた申請がある。分会委

員会が毎月開催されるようになり、今年度は交付金の追加申請が2分会されている。組合

活動が活発になればどうしても予算が必要となり、交付金が多くなる。今年度の決算では差が今までより小さくなると思う。

今までは、基準額以上

の申請のあつた分会に、多少の上乗せをしてきたが、来年度以降はそれもできなくなる恐れがある。

太田代議員

(城山病院分会)

賃金・退職手当について、4年間給与削減がされている中、知事は基金を積み立て、減

税すると言っているが、我々の給与、退職手当はその基金として使われるのではないか。退職手当の見直しがされた場合の参考例など教えてほしい。

〈本部〉

給与削減分、退職手当の削減分がそれに使

われるかどうかは分からない。給与削減については早期の解除を要求している。退職手当の見直しについては、

明日以降に病院事業庁から提示してくると思う。



「ふわふわのふくろう」
↓昼食はバイキング



たのしい鳥の会、車中ゲームに夢中になり

楽しかったよ〜



私ペンギンです

癒された1日 愛知病院 6階病棟 山本陽子

前日は雨だったお天気が当日見事に晴れ、とても暖かく、行楽には最高の日和となりました。

親子連れで参加して下さる方も多く、バス車内や現地でも明るい笑い声や微笑ましい笑顔が絶え間なく続き、花鳥園のたくさんの鳥たちの鳴き声は、私達を歓迎してくれているかのようでした。

皆さんから「たのしかったよ〜」と多くの言葉をかけて頂き、とてもうれしく、感謝の気持ちでいっぱいでした。

職員同士で遠出する機会も少ないこの頃...、今後も今回のように、皆さんでワイワイ楽しく過ごせる機会が減ることなく、一人でも多くの組合員の方に参加していただくと、なうれしく思います。

トラブルや事故もなく終えられることができ、今回の企画に参加して下さった方々、企画・運営に力を貸して下さった方々、本当にありがとうございました。

ぼくは、お母さんとお姉ちゃんに参加しました。何度か花鳥園にいったことはあるけど、みんなでバスに乗って行くのは初めてです。とても楽しかったです。花鳥園では、鳥のショーを見たり、きれいな鳥たちにエサをあげました。
お姉ちゃん「ギヤング」と呼ばれる鳥にエサをあげて手をつつかれて面が出ていたり、あごく大きいエミコーにエサをあげていました。ぼくはちよつとこわかったです。
清水エスバルスドリームでは、忍者のからくり部屋で、ななめの部屋に入ったり、しゅりけんを投げたりして楽しかったです。
バスの中では富士山がきれいに見えたり、ピンゴヤクイズ、じゃんけん大会をして景品をゲットできて楽しかったです。また、来年はどこにいけるのか楽しみです。

楽しかった花鳥園 4年 荻野駿 (愛知病院 荻野由起子)